

項目		2017年目標/中期計画	2017年実績/結果	評価	2018年計画
気候変動への取り組み	地球温暖化防止	2020年までに従業員1人当たりエネルギー消費量2010年比20%削減	1人当たりエネルギー消費量を2010年比で17%削減	●●	2020年までに従業員1人当たりエネルギー消費量2010年比20%削減
		エネルギー消費量2016年比2%以上削減	エネルギー消費量1.5万GJ(2016年比0.7%)増加	●	エネルギー消費量2017年比2%以上削減
		CO2排出量2016年比2%以上削減	CO2排出量727トン(2016年比0.7%)増加	●	CO2排出量2017年比2%以上削減
	営業車へのハイブリッドカー導入	エコカー導入比率 60%以上	エコカー導入比率 75%	●●●	エコカー導入比率 60%以上
		営業車の平均燃費 16 km/L以上	営業車の平均燃費 14.2 km/L	●	営業車の平均燃費 16 km/L以上
廃棄物管理	発生量の削減	—	産業廃棄物発生量 2,854トン(2015年差304トン増加)	—	—
		ゼロエミッション(廃棄物再資源化率99%以上)を三事業所以上で達成	産業廃棄物再資源化率98%以上を三事業所で達成	●●	ゼロエミッション(廃棄物再資源化率99%以上)を三事業所以上で達成
	最終処分量の削減	産業廃棄物再資源化率 80%以上	産業廃棄物再資源化率 76.4%	●●	産業廃棄物再資源化率 80%以上
		産業廃棄物最終処分率 2%以下	産業廃棄物最終処分率 0.8%	●●●	産業廃棄物最終処分率 2%以下
	廃棄物処理委託先の確認	廃棄物処理委託業者現地確認率 40%以上(3年で100%以上)	廃棄物処理委託業者現地確認率 43%	●●●	廃棄物処理委託業者現地確認率 3年で100%以上
省資源	OA紙・コピー用紙購入量の削減	2017年OA用紙・コピー用紙購入量 2016年以下	2016年比 21.9%削減	●●●	2018年OA用紙・コピー用紙購入量 2017年以下
	OA紙・コピー用紙リサイクル率の向上	2017年OA用紙・コピー用紙リサイクル率 80%以上を維持	2017年リサイクル率 86%	●●●	2018年OA用紙・コピー用紙リサイクル率 80%以上を維持
生物多様性保全	水質保全	WET(Whole Effluent Toxicity)試験による排水測定の実施(5事業所/年1回)	WET(Whole Effluent Toxicity)試験による排水測定の実施(5事業所/年1回)	●●●	WET(Whole Effluent Toxicity)試験による排水測定の実施(5事業所/年1回)
化学物質管理	化学物質管理の徹底	化学物質コンプライアンス管理体制の強化	規制物質使用状況の調査結果に基づいた法規制対応強化計画の策定	●●●	化学物質コンプライアンス管理体制の強化
環境マネジメントの向上	中外環境マネジメントシステムの質的向上	リスクアセスメント 移転/評価済み事業場のフォローアップ	一部事業所でEHS内部監査を実施	●●	EHS内部監査を実施
		IRCA認定内部環境監査員の養成と新任環境監査員研修の実施	新任環境監査員研修31名受講、IRCA認定内部監査員資格を29名取得(新規10名、継続19名)	●●●	IRCA認定内部環境監査員の養成と新任環境監査員研修の実施
		環境安全衛生の文書体系の整備および体制の周知、定着	環境安全衛生の文書体系の整備および体制の周知、定着を実施	●●	環境安全衛生の文書体系の整備および体制の周知、定着
		ISO14001認証取得事業所での2004年版維持・更新審査の通過・2015年版の体制移行	ISO14001認証取得事業所での2004年版維持・更新審査の通過・2015年版の体制移行	●●●	ISO14001認証取得事業所での2015年版移行審査の通過
環境情報の透明化	環境パフォーマンスの公開	国内および海外関連会社への環境パフォーマンスデータ管理システム導入ならびに第三者検証対象調査項目拡張	第三者検証対象調査項目拡張(フロン類等排出量、産業廃棄物)	●●	国内および海外関連会社への環境パフォーマンスデータ管理システム導入ならびに第三者検証対象調査項目拡張
		環境情報のウェブサイトへの公開および公開内容の充実	環境情報のウェブサイトへの詳細情報揭示(排出量原単位の開示等)	●●●	環境情報のウェブサイトへの公開および公開内容の充実